

- 1 (1) ウ (2) エ (3) カ
- 2 (1) 木材 (2) (絵具で絵を)描く
(3) kitchen (4) president
- 3 (1) millions of (2) set up (3) afraid of
- 4 (1) is liked by (2) Is, washed
(3) were loved (4) wasn't finished
- 5 (1) English is used in their country.
(2) Were those flowers seen by many people last year?
(3) This movie is not known to children.
- 6 (1) 例 Breakfast is always cooked by me.
(2) 例 The letter to my grandfather was written by me.
- 7 (1) 音楽を通して, 困難な問題に取り組むこと。
(2)(a) ○ (b) ×

台本

- 1 (1) This is used when you wash clothes.
(2) It is used when we go outside. We wear it on a cold day.
(3) This is sometimes used when we read difficult books.
《和訳》(1)「これは服を洗うときに使われます」
(2)「それは私たちが外出するときに使われます。私たちは寒い日にそれを着ます」
(3)「これは私たちが難しい本を読むときにとどき使われます」

解説

- 3(1)「非常に多くの～」は millions of ~。
(2)「～を創設する」は set up ~。set は過去形も過去分詞も set。
(3)「～を恐れる」は be afraid of ~。
- 4(1) 受け身の文は〈be 動詞 + 過去分詞〉で表す。主語が三人称・単数で現在の文なので, be 動詞は is。
(2) 受け身の疑問文は〈be 動詞 + 主語 + 過去分詞 ~?〉の形。
(3) 過去の受け身の文は, be 動詞を過去形にして表す。
(4) 受け身の否定文では, be 動詞のあとに not を置く。ここでは空所の数から, was not の短縮形 wasn't を使う。
- 5(1) English を主語にした受け身の文にする。
(2) those flowers を主語にした受け身の疑問文にする。seen は see の過去分詞。〈by ~〉は〈be 動詞 + 過去分詞〉のあとに置く。
(3)「～に知られている」は be known to ~。否定文なので be 動詞のあとに not を置く。
- 6 どちらも過去分詞が指定されているので受け身の文で表す。
(1)「朝食はいつも私によって作られます」breakfast を主語にして表す。副詞の always は be 動詞と過去分詞の間に置く。
(2)「祖父への手紙は私によって書かれました」the letter を主語にして表す。
- 7(1) 4~5行目のミラー先生の言葉を指す。
(2)(a)「健はテレビでスティービー・ワンダーの歌を聞きました」1~2行目参照。
(b)「健はスティービー・ワンダーが有名であることを知っていました」3~4行目参照。